



まつだ通信

MAZDA NEWS

公明党鹿児島県議団 平成22年7月

〒890-0016 鹿児島市新照院町7番8号

何でもお気軽にご相談下さい。

TEL&FAX 099-222-1507

【Eメール】 h-matsuda@komei-kagoshima.jp

【HPアドレス】 http://www.komei-kagoshima.jp

お元気ですか？

口蹄疫の問題では、公明党の地方議員と国会議員の連携プレーにより国会での特別措置法の成立をリードしました。ネットワーク政党公明党チーム3000の力を発揮しました。

私も5月中旬に湧水町を訪問し、農家さんと影響や要望について意見交換しました。また、口蹄疫被害者を支援する県民の会の皆さまと協力して県下15か所での募金活動に参加、たくさんの青年局メンバーに活動して頂きました。

県議会では、口蹄疫、学校耐震化、女性のがん検診の問題等生活に直結した課題について質問致しました。今後とも「声の届く政治」を目指して働いてまいります。皆様のご健康、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。

公明党県議団走る！



▲平成22年5月12日 川辺小学校

子どもたちと給食を食べて、教師時代をなつかしく感じました。



▲平成22年5月13日 指宿養護学校

鹿屋時代の同僚と再会しました。

平成22年 第2回 県議会定例会 6月2日～22日 21日間 議案20件、補正予算6億5,272万円

会議質問・提案

■ がん対策

ガンクーボンのおかげで、乳がんは4%
子宮頸がんは14%増加
特に、20歳代は4倍、30歳代は2.5倍増

鹿児島県初回受診者の状況(単位%)

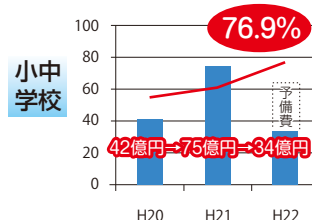
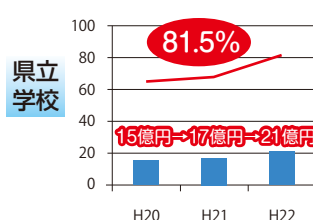
	H20	H21	増加
乳がん	35.3	39.7	+4.4
子宮頸がん	15.4	29.6	+14.2
(20歳代)	21.1	81.6	約4倍
(30歳代)	23.7	58.0	約2.5倍

平成22年度は、ほぼ全自治体で実施

■ 学校耐震化が前進!

予算減額(2,775億円→1,032億円)の撤回迫る政府から
予備費の活用を引き出す

山口代表「命守る政治貫く信念ない」と追及
鳩山首相「自慢できる話じゃない…」と本音



民主党政権の失政

5K

基地

米軍普天間基地移転について

知事 徳之島の大多数が強い反対の意向を示している。地元の意向に反して、日米共同文書に徳之島が明記されたことは誠に遺憾である。

迷走! 「最低でも県外」は公約ではない。(鳩山)

5月28日 日米共同声明「移転先をキャンプシュワブのある**名護市辺野古**地区及びこれに隣接する水域とし、海兵隊などの訓練の一部移転先に**徳之島**を明記

社民党党首を罷免! **菅副総理(当時)は、一切発言なし? なぜ**

山口代表 「正式提案もないまま、徳之島移転が取りざたされること自体が**島の皆さんに大変失礼なやり方だ**」。その上で「島の民意を受け止め、鳩山政権はしっかり対処すべきだ」。



カネ

鳩山前代表、小沢前幹事長、小林前衆議院議員に続き、荒井国家戦略担当大臣に事務所費疑惑

景気

財政出動を全くせず、世界で一国だけの逆噴射政策

手当ばかりではなく、仕事をつくり、雇用を生み出してこそ景気回復につながる。

口蹄疫

政府の動き		公明党
20日	口蹄疫発生の第一報	
29日	山田副大臣が知事と会いカメラ撮りのみ	宮崎入り、対策本部立ち上げ
	赤松農水相、南米外遊「騒ぐな」帰国後栃木の民主会合へ	
5月9日	赤松農水相、初めて宮崎訪問	
10日		2回目の現地入り
12日	6月1日鳩山首相初宮崎訪問	「1000億円の緊急予算確保を」首相に申入れ
25日	現地滞在2時間半6月2日辞任	「特別措置法案」を国会へ提出
28日		「口蹄疫対策特別措置法」が成立!



山口代表 「いち早く現場へ調査に赴き、地方議員と連携の上で、特別措置法を提案し、基金の創設、予算措置の早急な実施を訴えてきた」政府は、政治主導を掲げながら全く主導権を発揮できなかった。本来、緊急措置が必要であれば(特別措置法は)政府から出すべきものだ。」

県として 口蹄疫緊急防疫対策事業⇒約6億5千万円

●防疫・消毒関係→6億3,599万円 ●家畜経営対策関係→2,122万円

国会軽視

強行採決10回 民主党提出の法案を自ら廃案に (法案成立約55% — 戦後最低)

トピックス

- **議員提案** 「スポーツ振興かごしま県民条例」制定
- 鹿児島県議会開設130周年